

映像で伝えて、命を守る「Live119」

市消防局では、119番通報の際に、通報者のスマートフォンを通じて、映像を送受できるシステム「Live119」の運用を開始します。より迅速で適切な消防・救護活動が期待できます。

閑消防局警防課(☎546-3456、㈹542-1007)

映像により正確な判断が可能に

新システム「Live119」は、通常の119番通報にスマートフォンなどで撮影した映像を加えることで、今まで音声だけしか伝えられなかった、災害・事故の状況をより正確に伝えることができます。

この映像を、通信指令室などが確認。対応方法などをより正確に判断し、速やかに適切な消防・救護活動を始められます。



映像を受け取りながらの応急手当ても

通信指令室から通報者のスマートフォンへの映像配信も可能となります。倒れている人に応急手当てなどが必要になったときに、通信指令室と会話しながら、応急手当ての方法を映像でも確認できるようになります。



心臓マッサージの方法などを映像で確認できます

Live119の使用方法



※使用には通報者の安全が確保されていることが前提となります

※映像送受などの通信料は通報者の負担となります

インタビュー interview



消防局警防課

杉本課長補佐

消防局管内では年間9万5000件以上、1日平均約260件の通報があります。

多くの通報を受け付ける中、映像を確認しながら通報のやり取りをすることが、より適切な

現場の状況をより詳しく正確に判断するために

対応につながると指令係員が判断した場合、通報者にLive119の使用をお願いすることができます。

Live119を効果的に活用し、市民の皆さんのがより安全で安心して暮らせるよう努めていますので、ご協力をお願いします。

「ザ・広島ブランド」今年度の認定5品

市は、広島の特産品で特に優れたものを「ザ・広島ブランド」として認定し、広くPRしています。今年度も市民の皆さんから投票を募り、審査を経て、新たな認定品が決定しました。

閑地域産業振興課(☎504-2238、㈹504-2259)

新たな広島の逸品が追加

広島の特産品で特に優れたものを認定する「ザ・広島ブランド」。豊かな自然に恵まれた四季折々の旬の食材や素材による食品「味わいの一品」と、被爆を乗り越え脈々と受け継がれた伝統の技や先進的な技術による工芸品「匠の銘品」の2部門があります。今年度は「味わいの一品」4品、「匠の銘品」1品が加わり、認定品は123品となりました。

●昆布茶シリーズ／日東食品工業(株)



広島で生まれて88年

北海道産の利尻昆布を使用したまろやかな風味と昆布の持つうま味が生かされたコクのあるおいしい昆布茶です

●広島オイスター／楠原蠣罐詰工業(株)



原料は広島県産のカキと藻塩のみ
1本にカキ30個分のうま味を凝縮。素材を生かした味わいで風味を引き立て、幅広い料理に活用できます

●Tree of Peace -芽吹き-/（有）Sakuro



被爆樹木の息吹を手に

被爆樹木から剪定した枝を一つ一つ職人の手仕事で丁寧にボールペンやアクセサリーなどに加工した作品。平和へのメッセージを発信します

●海人の藻塩／蒲刈物産(株)



海人が作る海の恵みの結晶

製塩土器から千年の時を経て復元された製塩法で製造。海藻由来のミネラルを含むまろやかなうま味が特徴です

●広島を100%味わう広島かりんとう／（株）香木堂



広島県産の食材
そのものの味が楽しめる

広島県産のカキ、レモン、広島菜、ちりめんじゃこ、酒かすなどを使用した広島愛たっぷりのかりんとうです

認定品や認定式など、詳しくは市ホームページやインスタグラムをご覧ください。

市HP



Instagram



広島で南極について考える

南極条約協議国会議が、5月に広島で開催されます。次世代を担うこどもたちに、南極を感じてもらうため、記念イベントを開催します。

閑国際化推進課(☎504-2106、㈹504-2986)

世界のみんなで考える

南極条約とは、南極地域の平和的目的の利用や科学調査の促進などを原則とした条約です。

現在、58カ国が締約しており、その内、日本を含む29カ国が同条約協議国として、年に一度会議を開催し、国際協力の促進や情報交換を行っています。

今年は、32年ぶりに同会議が日本で開催されることになり、広島が開催地となりました。

市は、開催までの期間に、南極について知り、考えるきっかけとなるイベントを国立極地研究所と共同で開催します。



国立極地研究所とは？

国内で南極や北極を調べる中心的な研究機関です。

南極や北極には、地球の気候や環境を理解するための情報がたくさんあります。同研究所は、南極で観測基地を運営し、観測隊を送り出して氷や生態系、気候などを調べています。

世界トップレベルの研究機関と

して、未来の研究者を育成する活動も行っており、地球の未来を守るために、世界と協力しながら、研究を進めています。



国立極地研究所提供

24時間体制で観測などを行う昭和基地

3/21(土) 南極が広島にやってくる！ 南極条約協議国会議広島開催記念イベント

次世代を担うこどもたちに南極を感じてもらえるような体験型のイベントを開催します。

【対象】小・中学生など

【時間】10:00～16:00

【会場】合人社ひと・まちプラザ

【内容】南極とのライブ中継や研究者(観測隊経験者)によるトーク、南極の氷やオーロラに関する展示や

体験コーナーなど。詳しくはイベントホームページで



南極の生態系についても学べる